

【水産業共同利用施設復興促進整備事業計画の実績に関する評価様式】

事業番号 14-1-1

事業名 松川浦（岩子地区）作業保管施設整備事業

事業費 35,000 千円（国費 24,062 千円）
（内訳：工事費 35,000 千円）

事業期間 令和 6 年度

事業目的・事業地区

本市の代表的な特産品であるアオサノリやアサリは、東日本大震災による福島第一原子力発電所の事故により発生した風評の影響で震災前の主要取引先との取引がなくなるなど、震災の影響が多く残っている。

販路の拡大を目指す中で、水揚げ後の作業を屋外で行っていることから、砂やゴミといった異物の付着による、異物を取り除く除塵機への負担と商品の品質が課題となっている。

本事業により、作業場及び下屋を整備することで、異物の付着を減らすことができ、除塵機の負担軽減と商品の品質向上による価値向上を図ることができる。

事業地区：松川浦（岩子地区）

事業結果の概要、目標の達成状況

屋内作業所 A=80.14 m²下屋作業所 A=77.22 m²

乾燥ノリ水揚げ状況

令和 6 年 1 月～5 月 重量 28,615kg 金額 125,866,038 円 単価（円/kg）4,398 円

令和 7 年 1 月～5 月 重量 20,181kg 金額 101,260,911 円 単価（円/kg）5,017 円

令和 7 年の漁期においては、海水温の上昇による影響か、種付き及び生育が悪く、水揚げ量が減少した。一方で施設整備に伴う品質向上や全国的な需要増の影響で単価は上昇している。

販路の拡大等

震災後、取引のなくなっていた三重県の業者等との意見交換会及び当該作業施設等の視察の受入れを行った。意見交換会において、当該作業場や除塵機を活用した松川浦産の海苔の品質に評価をいただき、今後の販路拡大に向けて連携していくこととなった。



整備前



整備後

事業の実績に関する評価

①事業結果の活用状況に関する調査・分析・評価

整備した施設は、令和6年12月より、相馬双葉漁業協同組合の管理の下、地元漁業者がアオサノリ及びアサリの水揚げ後の作業に活用している。

施設を活用することで品質の向上や作業効率の向上が図られたことから有用であったと考える。

②コストに関する調査・分析・評価

本事業の整備規模・設備は、漁業者及び利用者への聞き取りや協議を行い、必要最低限度の設計とすることで事業費の縮減に努めた。また、整備した施設等は水産業の復興に有効に活用されており、コストは適切なものとする。

③事業手法に関する調査・分析・評価

	当初想定した事業期間	実際に有した事業期間
工 事	令和6年7月～令和6年11月	令和6年8月～令和6年11月

当初の想定より着工が遅れたが、工事業者との工程の調整等により、当初予定していた11月中に完成することができた。想定期間内に工事を完了し、供用を開始したことで、12月以降のアオサノリの水揚げ作業に活用することができたことから、事業の手法として妥当であったと考える。

事業担当部局

相馬市産業部農林水産課 電話番号：0244-37-2152